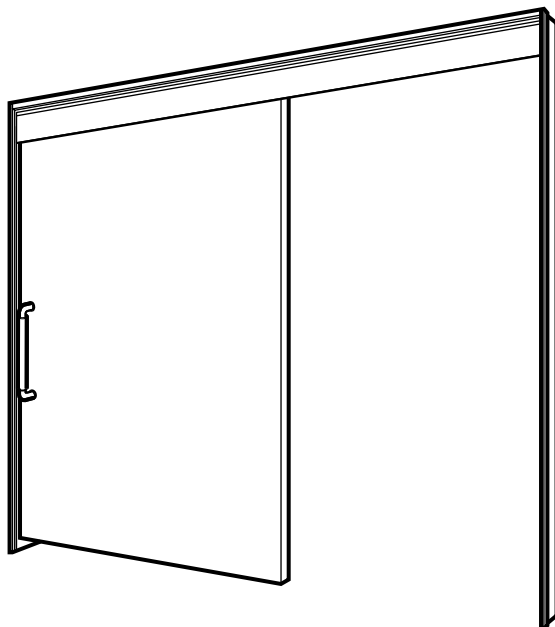
施工後、必ずお施主様にお渡しください。

施工説明書
取扱説明書

スマイエ
巾広吊戸

この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

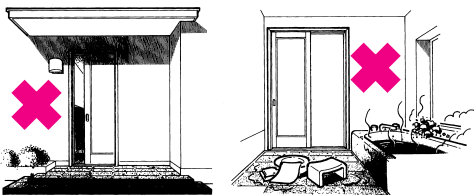
大建工業株式会社

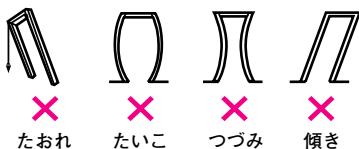
TU-BF-081003

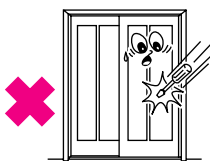
必ずお守りいただきたいこと

⚠施工上注意

ダイケンリビングドアを長期安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

●この引戸は室内用吊戸です。
他の用途へのご使用はおやめください。

●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。

――扉が閉まりにくくなったり、枠との間にスキマができる原因となります。

●扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。

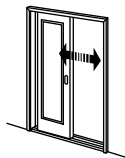
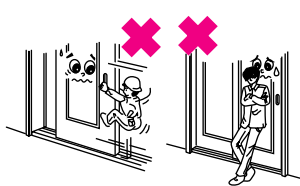
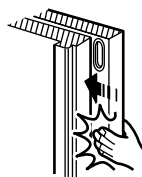
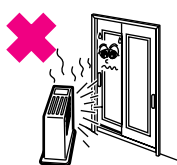
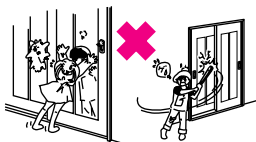
――傷をつけるおそれがあります。

●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。

●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。

――熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

⚠使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用していただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

●扉の開閉は、静かに行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。

●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。

●扉と枠の間や、扉どうしの隙間に指をはさまないよう注意してください。
特に小さなお子様には十分ご注意下さい。

●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

●ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。
ガラスが外れるおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。

お 手 入 れ の 方 法

●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

製品寸法図

片　引

●図は00デザイン・右引タイプ

見切枠壁厚対応図　見切 B〜E（シンプル）壁厚145mm〜216mm

見切		B	C	D	E
①壁厚		145〜162	162〜180	180〜198	198〜216
②枠外寸	横用	159〜176	176〜194	194〜212	212〜230
	縦用	169〜186	186〜204	204〜222	222〜240
③見切サイズ	横用	22	31	40	49
	縦用	27	36	45	54

図は見切B〜E使用の場合

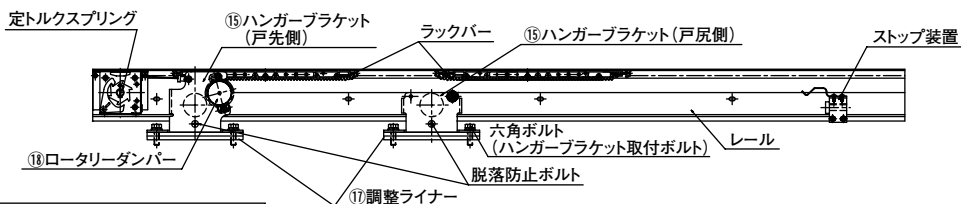
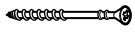
全体図

（図は右引・クローザー付タイプを示す）

②鴨居
⑤控壁縦枠
横用見切の片側は現場にてカットしてください
⑳見切
⑯脱落防止ボルト
木製ドア吊金具
⑧幕板（裏）
⑮ハンガーブラケット
⑰調整ライナー
⑦幕板（表）
③レール下地材
⑭レールセット
⑥方立
方立モヘア
①扉本体
㉑にぎりバー
⑩指はさみ防止クッション
引戸戸当りキャップ
④縦枠（戸じゃくり付き）
⑫振れ止め金具受け金具
振れ止め金具
⑲ガイドピン
⑪引戸戸当りキャップ

枠を床下に埋め込まない場合は
枠下端をカットしてください。

吊金具セット各部名称

（図は右引タイプ）

クローザー付タイプの場合

部材・部品表

施工前に必ず部品を確認してください。

		部品名称		数量	備　　考
扉セット	①	扉本体	本体	1	
			木製ドア吊金具	2	扉に取付済み
			振れ止め金具	1	扉に取付済み
			ガイドレール	1	扉に取付済み

枠セット	②	鴨居		1	ﾌﾟﾚｶｯﾄ済み
	③	レール下地材		1	
	④	縦枠（戸しゃくり付）		1	
	⑤	控壁縦枠		1	
	⑥	方立	本体	1	
			方立モヘア	1	方立に取付済み
	⑦	幕板（表）		1	両面テープ貼り付け済み　L＝1200
	⑧	幕板（裏）		1	ﾌﾟﾚｶｯﾄ済み
	⑨	金具セット	枠組立ビス	13	φ4.2×50
			枠調整ビス	13	φ5.3×55
			下地材固定ナット	3	M6×13
			下地材固定ボルト	3	M6×70
			幕板固定用ビス	5	トラスタッピングネジφ4×20
	⑩	指はさみ防止クッション	本体	2	L=20
			取付ビス（ワッシャー付）	2	皿φ3.5×25
	⑪	引戸戸当りキャップ		8	
	⑫	振れ止め金具受け金具		1	縦枠に取付済み
	⑬	施工説明書・取扱説明書		1	必ずお施主様にお渡しください。

		部品名称		数量	備　　考
吊金具セット	⑭	レールセット	本体	1	
			取付ビス	7	六角フランジタッピンネジ ϕ5×20
	⑮	ハンガーブラケット	本体（戸先側） （図は右引タイプ）	1	クローザー付タイプの場合　クローザーなしタイプの場合
			本体（戸尻側） （図は右引タイプ）	1	
			取付ボルト	4	M8×30
	⑯	脱落防止ボルト	ナベタッピンネジ ϕ6×30	2	
			バネザガネM6	2	
	⑰	調整ライナー		4	厚さ1mm
	⑱	ロータリーダンパー （クローザー付タイプのみ）	本体	1	
			取付ボルト	2	トラスコネジ M5×10
			ヒラザガネM5	1	
			バネザガネM5	1	
	⑲	ガイドピン	本体	1	
			取付ビス	4	トラスタッピンネジ ϕ5×25

見切セット	⑳	見切	縦用	4	壁厚に合わせて 4 サイズの中から選んでください。
			横用	2	

にぎりバーセット	㉑	にぎりバー	1組	

セパレート カマ錠セット	㉒	セパレートカマ錠	1組	

必要梱包　**扉セット＋枠セット＋吊金具セット＋見切セット＋にぎりバーセット**

※カマ錠タイプの場合はカマ錠タイプの扉／枠セットおよびセパレートカマ錠セットが必要です。

準 備

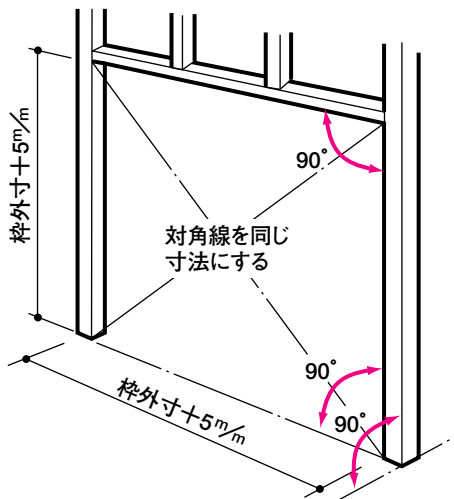
梁の断面寸法	120×180mm以上

◆扉は上吊り式です。
まぐさは、必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。

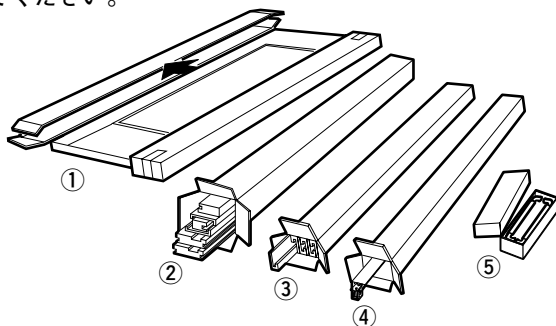
⚠**注意** 梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。

◆開口部の幅・高さの寸法を充分に確保してください。

◆柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

⚠**注意** クローザーなしタイプの場合、まぐさが水平でないと、扉が自動で開いたり閉じたりすることがあります。

⚠**注意** 下図の様なことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。

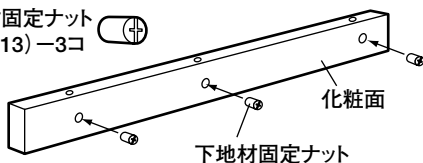
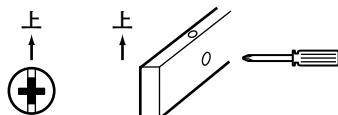
梱包を開けて部品を確認してください。

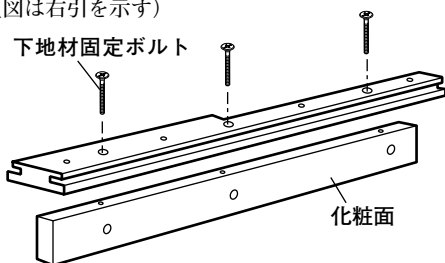
① 扉
② 枠
③ 見切
④ 吊金具
⑤ にぎりバー

施工の前に

・枠を床下に埋めこまない場合：枠下端をカットしてください。

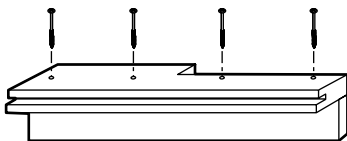
・枠を12mm厚のフロアーに埋めこむ場合：枠はそのままお使いください。

下図のように枠を組み立ててください。

①レール下地材に、下地材固定ナットを入れてください。（3ヶ所）

必ず穴から⊕側が見える向きに入れてください。穴から見た時に下図のようになるよう手動ドライバーで調整してください。

⚠注意 下地材固定ナットが正常に入っていないと、鴨居との接合ができません。

②鴨居とレール下地材を下地材固定ボルトで接合してください。（3ヶ所）
（図は右引を示す）

⚠注意
レール下地材を接合する向きに注意してください。

下地材固定ボルト（M6×70）ー3本

③鴨居とレール下地材を組立ビスで固定してください。（4ヶ所）
（図は右引を示す）

枠組立ビス（φ4.2×50）ー4本

④縦枠と鴨居にずれがないように組み立ててください。

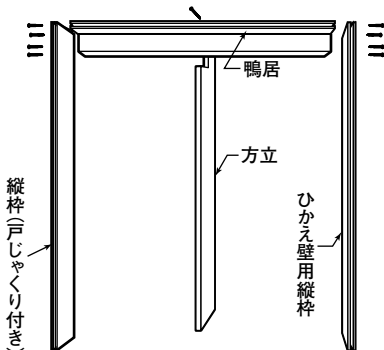
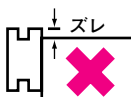
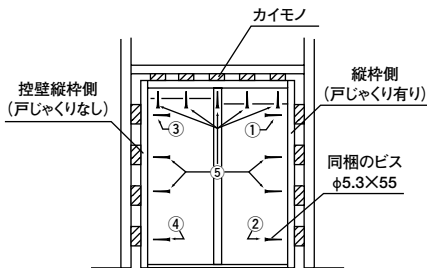
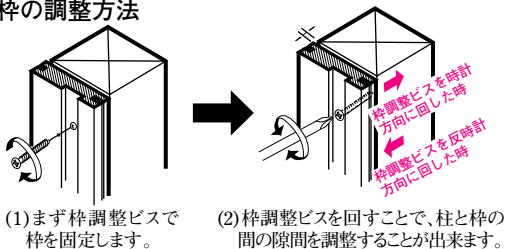
枠組立ビス（φ4.2×50）ー9本

施工手順

1 開口部への枠の取付

枠の調整方法

(1)まず枠調整ビスで枠を固定します。

(2)枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

⚠ **注意** 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

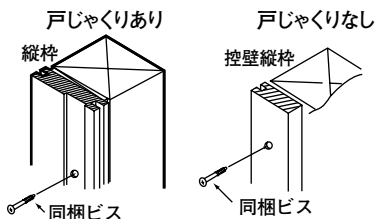
①枠を開口部にはめこんで縦枠側(戸じゃくり有り)の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

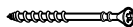
②**下げ振りを使って垂直をだしてから**、縦枠(戸じゃくり有り)の下部を枠調整ビスで仮固定してください。

③**水準器で鴨居の水平を見ながら**控壁縦枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

④**下げ振りを使って垂直をだしてから**、控壁縦枠の下部を仮固定してください。

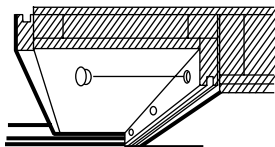
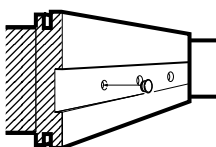
⑤枠の左右調整は右記の様に行ってください。

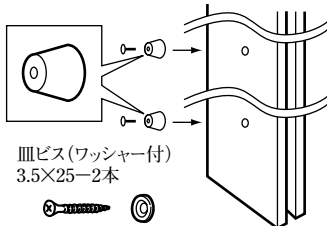
⑥**枠の前後、左右のたわみがない様に調整**して残りの枠調整ビスで本固定してください。

同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。

取付ビス：枠調整ビス φ5.3×55−13本

⚠ **ビス固定する時に下記の点を注意してください。**

鴨居	方立
鴨居のリード穴から同梱の枠調整ビスで固定してください。 取付ビス：枠調整ビス φ4.2×55 ⚠ 鴨居レールのリード穴に枠調整ビスを打ってください。	裏面からビスで固定してください。(現場調達)

2 戸当りキャップ・指詰防止クッションの取付

引戸戸当りキャップを縦枠、控壁縦枠にはめ込んでください。

控壁縦枠に指詰防止クッションを取付けてください。（上下2ヶ所）

皿ビス(ワッシャー付)
3.5×25−2本

3 ハンガーブラケットの取付

下図に従い、ハンガーブラケットを扉上部に取付けてください。（図は右引を示す）

取付ボルト（M8×30）ー4本

調整ライナーは戸先側と戸尻側に2枚ずつ入れてください。

⚠ **注意** 取付ける向きに注意してください。

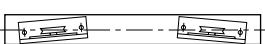
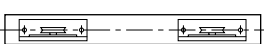
クローザーなしタイプの場合

取付ボルト
ストッパーローラーが外側
取付ボルト
ハンガーブラケット（戸先側）
ハンガーブラケット（戸尻側）
戸尻側
扉
調整ライナー（2枚ずつ）
木製ドア吊金具（扉に取付済）
戸先側（にぎりバー加工のある側）

クローザー付タイプの場合

取付ボルト
ハンガーブラケット（戸尻側）
取付ボルト
戸尻側
ハンガーブラケット（戸先側）
扉
調整ライナー（2枚ずつ）
木製ドア吊金具（扉に取付済）
戸先側（にぎりバー加工のある側）

⚠ **注意** ハンガーブラケットが扉の中心で平行となるように取付けてください。

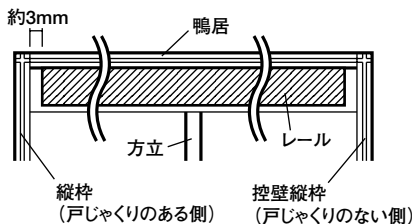
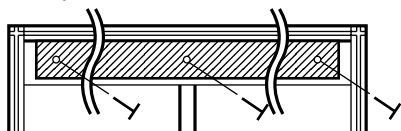
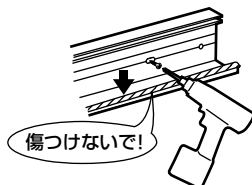
○　×

⚠ **注意** ハンガーブラケットを取付ける六角ボルトは確実に固定してください。取付がゆるいとボルトがゆるみ、扉が脱落する原因となります。

4 レールの仮固定

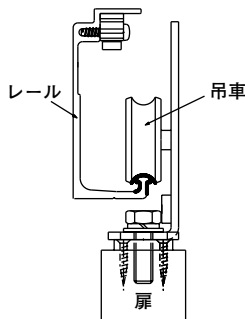
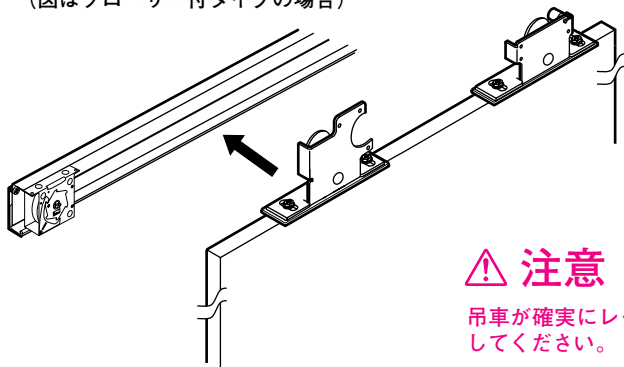
レールをレール下地材に取付けてください。（図は右引の場合）

⚠ **注意** 必ず2人以上で作業してください。

六角フランジタッピンネジ
φ5×20ー3本

①レールを鴨居に合わせ、縦枠とのスキマが約3mmとなるようにします。

②水準器でレールの水平を見ながら、コネジ（M5×20）にて両端部および、中心部の3ヶ所の穴からレールを固定してください。

⚠ **注意** レールの吊車移動面（斜線部）にキズをつけないようにしてください。又、ゴミが付着していれば取り除いてください。

5 扉の吊込

レールにハンガーブラケットをのせ、扉を吊込みます。
（図はクローザー付タイプの場合）

レール
吊車
扉

⚠ 注意

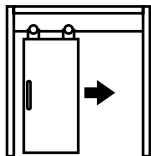
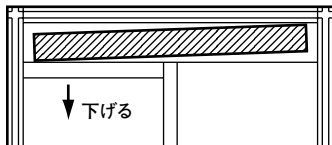
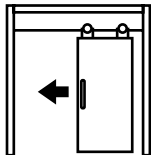
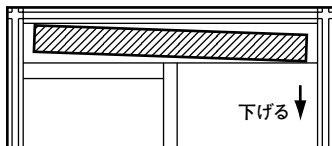
吊車が確実にレールの上に乗っていることを確認してください。

6 水平取付確認

クローザーなしタイプの場合　※クローザー付タイプの場合は「7. レールの固定」に進んでください。

以下の手順に従い、レールが水平に取付られていることを確認してください。

①扉を動かして、レールが水平に取付けられていることを確認してください。

②扉が自動で動く場合には扉を取り外した上で、レール固定用ビスを取り外し、下図に従ってレールを再度取付けてください。

③扉を吊込み、扉が自動で開閉しないことを確認してください。

④上の作業を行っても扉の自動開閉がなくならない場合は枠の建て付け調整を再度行ってください。

7 レールの本固定

扉を取り外し、残りのコネジ（M5×20）にてレールを固定してください。

六角フランジタッピンネジ
φ5×20ー5本

⚠ 注意

全てのレール固定用穴にコネジにて確実に固定してください。
取付されていない場合、レールが脱落することがあります。

8 ガイドピンの取付

ガイドピンの取付位置を確認し、ガイドピンを取付けてください。

コンクリート下地材に取り付ける場合には、フィッシャープラグ（現場手配）を使用してください。

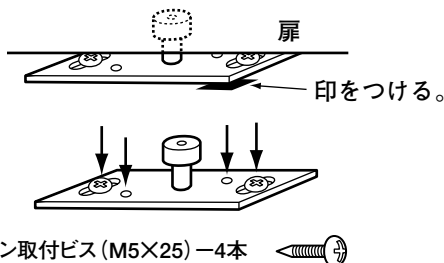
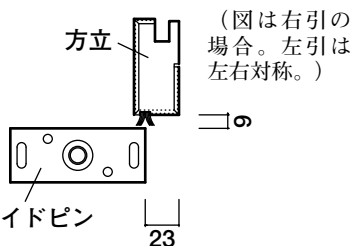
①右図の位置にガイドピンの長穴からビス（M5×25）で仮固定してください。
仮固定した後、再度扉を吊込んでください。

②扉を開閉し、方立に当たらないことを確認した上で、ガイドピンの取付位置に印をつけてください。

扉
印をつける。

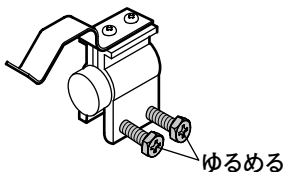
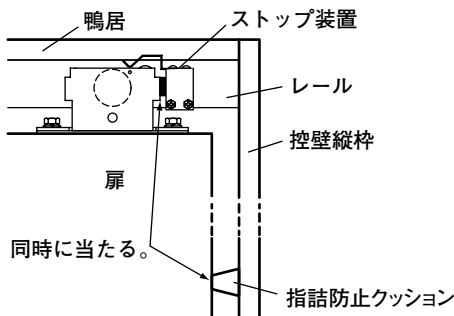
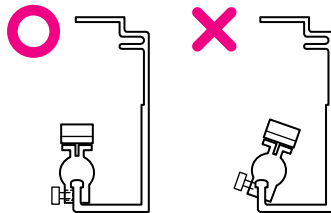
③扉をとり外し、印をつけた位置に合わせて、ガイドピンを本固定してください。

④扉を吊込んでください。

ガイドピン取付ビス（M5×25）ー4本

9 ストップ装置の位置調整

以下の手順に従って、戸尻側のストップ装置位置を調整してください。

戸尻側

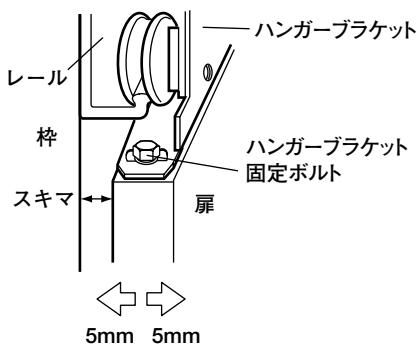
①ストップ装置に取付けられたボルトを2本共ゆるめてください。

②控壁縦枠に取付けられた指詰防止クッションと、ストップ装置が同時に当たるよう、ストップ装置の位置を調整してください。

③ストップ装置のボルトを固定してください。

⚠ 注意
ストップ装置は、レールに垂直に取付してください。

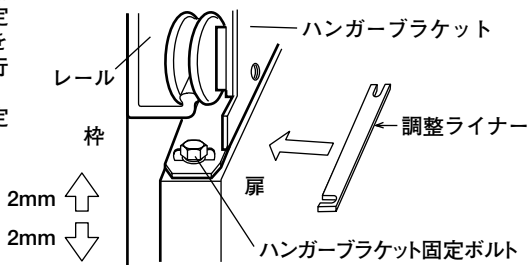
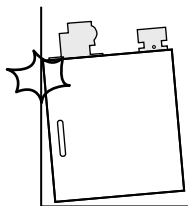
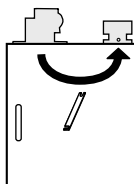
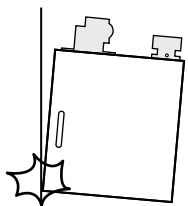
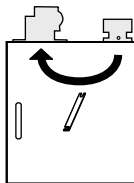
クローザーなしタイプの場合

戸先側　戸尻側と同じ手順で扉が縦枠とストップ装置に同時に当たる位置でストップ装置を固定してください。

10 前後調整・上下調整

前後調整 （前後調整範囲：10mm）

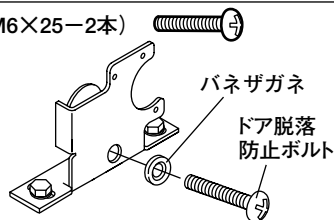
扉と枠が当たる場合には、ハンガーブラケット固定ボルトをゆるめ、ハンガーブラケットの取付位置を前後させることで、前後調整を行ってください。
調整後、ハンガーブラケット固定ボルトを確実に締めてください。

上下調整 （上下調整範囲：4mm）

扉と縦枠の間にスキマができる場合には、ハンガーブラケット固定ボルトをゆるめ、調整ライナーを入れかえることで、上下調整を行ってください。
調整後、ハンガーブラケット固定ボルトを確実に締めてください。

扉上部が縦枠とぶつかる場合

戸先側から戸尻側に調整ライナーを入れかえてください。

扉下部が縦枠とぶつかる場合

戸尻側から戸先側に調整ライナーを入れかえてください。

⚠ 注意 調整後はハンガーブラケット固定ボルトを確実に固定してください。
取付がゆるいとボルトがゆるみ、扉が脱落する原因となります。

11 ドア脱落防止ボルトの取付

脱落防止ボルト（M6×25－2本）

ハンガーブラケットにドア脱落防止ボルト（M6×25）を根元まで確実に締めつけてください。

⚠ 注意 ドア脱落防止ボルトは戸先側、戸尻側の両方に取り付けてください。
ドア脱落防止ボルトが確実に取付けられていない場合、使用中に扉が脱落することがあります。

12 クローザー機能の取付と設定

クローザー付タイプの場合には、以下の手順に従って、クローザー機能の取付と設定を行ってください。

ロータリーダンパーの取付

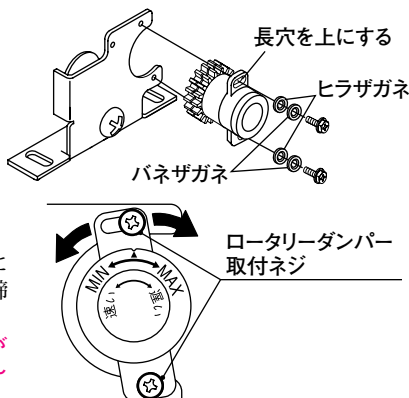
1）ロータリーダンパーを取付長穴を上にして取付ボルト（M5×10）で取付けてください。

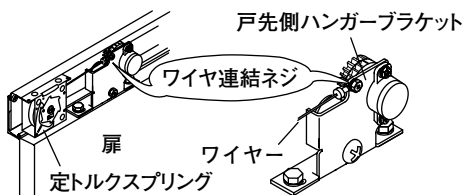
長穴を上にする
ヒラザガネ
バネザガネ

ロータリーダンパーとラックバーの噛み合いの確認

1）ロータリーダンパー取付ネジを2本共ゆるめてください。
2）ロータリーダンパーとラックバーが噛み合う位置にロータリーダンパーを調整後、取付ネジを確実に締め付けてください。

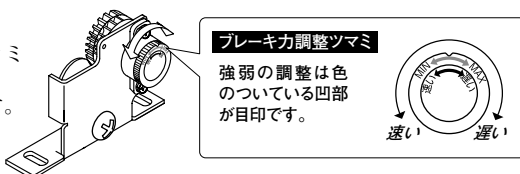
ロータリーダンパー取付ネジ

⚠ 注意 噛み合わせが深いと音鳴や動作不具合が発生します。その場合噛み合わせを0.5～1mm浅くしてください。

定トルクスプリングと戸先側ドアハンガーの連結

1）扉を閉めます。
2）定トルクスプリングのワイヤーを戸先側のハンガーブラケットに取付けられたワイヤ連結ネジに引っかけます。
3）ワイヤ連結ネジを締め付けてください。

ブレーキ力調整

ロータリーダンパーのブレーキ力調整ツマミを回し、ブレーキ力を調整してください。
速くする場合→ツマミを反時計回りに回す。
遅くする場合→ツマミを時計回りに回す。

ブレーキ力調整ツマミ

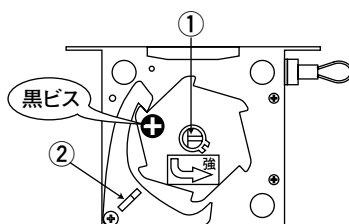
強弱の調整は色のついている凹部が目印です。

引込力の調整

⚠ 注意 ロータリーダンパーのブレーキ力調整で調整しきられない場合のみ、以下の手順に従ってください。
ギアは2回転以上回さないでください。故障の原因となります。

1）定トルクスプリングの黒ビス（右図）を外してください。
2）以下の手順で扉の閉まる速度調整を行ってください。

【扉を速く閉める場合】
右図①部にマイナスドライバーを差し込み矢印の向きに回してください。

【扉を遅く閉める場合】
右図②部にマイナスドライバーを差し込み、左右にねじってください。

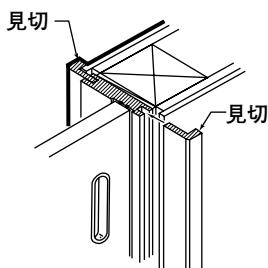
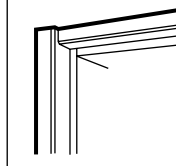
3）黒ビス穴と本体穴を合わせ、黒ビスを固定してください。

13 にぎりバーの取付

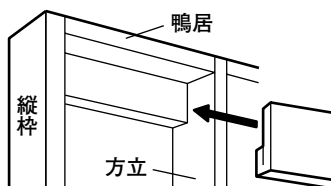
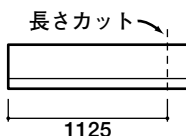
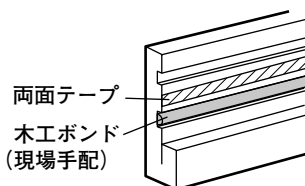
にぎりバーに同梱の取付説明書に従ってにぎりバーを取付けてください。

14 見切の取付

壁の施工が終了してから、見切を取り付けてください。

⚠見切に接着剤（木工ボンド）を塗布してください。

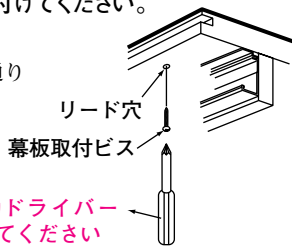
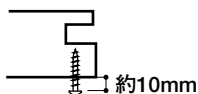
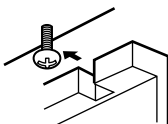
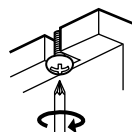
※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。

15 幕板（表）の取付

図のように幕板（表）をレール下地材に貼付してください。

16 幕板（裏）の取付

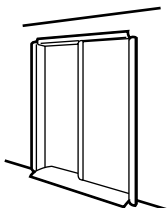
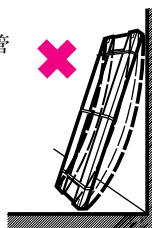
以下の手順に従って幕板（裏）を取り付けてください。

1）鴨居のリード穴に幕板固定用ビス（φ4×20）を5本、右図の通り取付けてください。

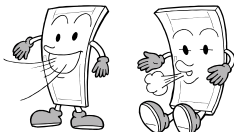
※10mm程残してビスをとめてください。

必ず手動ドライバーを使用してください

2）ビスの横方向から幕板をさし込んでください。

3）ビスをしめて幕板を固定してください。

17 養　生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。

※扉は梱包ケースに再度入れ、平積み保管してください。

※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は内装ドア周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

リビングドア

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様相談室
0120-787-505
（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは
TEL 06-6452-6000へお電話ください。
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンサービス株式会社
06-6452-6032

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。
http://www.daiken.jp/service/
DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶
▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い
大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

営業所	電話	営業所	電話	営業所	電話	営業所	電話
北海道営業部	☎ 011-856-2202	松本営業所	☎ 0263-40-0370	名古屋営業所	☎ 052-205-5811	山口事務所	☎ 083-974-0303
札幌営業所	☎ 011-856-2202	北関東営業部	☎ 028-621-6431	三河事務所	☎ 0564-65-8681	広島特販営業所	☎ 082-505-2525
函館事務所	☎ 0138-47-7191	宇都宮営業所	☎ 028-621-6431	岐阜事務所	☎ 058-246-6752	岡山営業所	☎ 086-262-2271
札幌特販営業所	☎ 011-856-2202	宇都宮特販営業所	☎ 028-621-6431	名古屋特販営業所	☎ 052-205-5811	岡山特販営業所	☎ 086-262-2271
旭川営業所	☎ 0166-24-1377	埼玉営業所	☎ 048-669-0660	浜松営業所	☎ 053-458-5751	四国営業部	☎ 087-866-8500
帯広事務所	☎ 0155-25-8421	熊谷事務所	☎ 048-527-5601	三重営業所	☎ 059-226-7073	高松営業所	☎ 087-866-8500
東北営業部	☎ 022-243-6621	群馬営業所	☎ 027-364-9811	北陸営業部	☎ 076-262-3211	高知事務所	☎ 088-885-6202
盛岡営業所	☎ 019-636-1161	首都圏営業部	☎ 03-5386-5957	金沢営業所	☎ 076-262-3211	高松特販営業所	☎ 087-866-8500
秋田事務所	☎ 018-862-4441	東京営業所	☎ 03-5386-5957	富山事務所	☎ 076-429-7250	松山営業所	☎ 089-945-8569
盛岡特販営業所	☎ 019-636-1161	山梨事務所	☎ 055-275-7931	福井事務所	☎ 0776-26-8508	徳島営業所	☎ 088-622-6261
仙台営業所	☎ 022-243-6621	横浜営業所	☎ 045-983-2332	北陸特販営業所	☎ 076-262-3211	九州営業部	☎ 092-413-2345
山形事務所	☎ 023-632-2711	厚木事務所	☎ 046-222-1535	近畿営業部	☎ 06-6915-7002	福岡営業所	☎ 092-413-2345
仙台特販営業所	☎ 022-243-6621	多摩営業所	☎ 042-571-3434	大阪営業所	☎ 06-6915-7041	北九州事務所	☎ 093-522-1224
青森営業所	☎ 017-729-2201	水戸営業所	☎ 029-248-8511	和歌山事務所	☎ 073-473-8090	長崎事務所	☎ 0957-35-0161
［八戸事務所］	☎ 0178-70-7318	つくば事務所	☎ 029-849-2344	大阪特販営業所	☎ 06-6915-7041	大分事務所	☎ 097-533-8701
郡山営業所	☎ 024-946-7211	千葉営業所	☎ 043-287-8491	兵庫営業所	☎ 078-321-1822	福岡特販営業所	☎ 092-413-2345
信越営業部	☎ 026-222-6311	我孫子事務所	☎ 04-7183-4070	（姫路駐在）	☎ 0792-24-8860	熊本営業所	☎ 096-372-5211
新潟営業所	☎ 025-285-5887	静岡営業所	☎ 054-288-3881	京都営業所	☎ 075-341-8151	南九州特販営業所	☎ 096-372-5211
新潟特販営業所	☎ 025-285-5887	首都圏住宅営業部	☎ 03-3249-4850	沖縄営業所	☎ 098-879-4916	鹿児島営業所	☎ 099-254-8300
長野営業所	☎ 026-222-6311	首都圏集合住宅営業部	☎ 03-5386-5974	中国営業部	☎ 082-505-2525	宮崎事務所	☎ 0985-26-5908
長野特販営業所	☎ 026-222-6311	首都圏リモデル営業部	☎ 03-3249-4802	広島営業所	☎ 082-505-2525	西部住宅営業部	☎ 06-6452-6231
長岡営業所	☎ 0258-33-5734	中京営業部	☎ 052-205-5811	福山事務所	☎ 084-924-7196		

2008.08 現在

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス　http://www.daiken.jp/